

教育研究所だより



宮古島市立教育研究所
 指導主事 砂川 睦紀
 宮古島市平良字西里1140
 TEL 73-1104

運動療育を活用した (12月) 特別支援指導員派遣プログラム

12月は南小と東小の2校で巡回を実施しました。今回は先生方から頂いた感想のみ紹介致します。1月の巡回はコロナの影響でできませんでしたが、本プログラムは3月巡回まで申請を受け付けています。希望校は申込フォームから申請をお願いします。

宮古島市立南小学校 12/9(木) 9:00~16:45



宮古島市立東小学校 12/19(金)9:00~16:45



～事後アンケートより～

- 1人ひとりの援助の仕方を細かくアドバイスしてくれ、その子の身体の状態も教えてくれるなど、具体的にとてもわかりやすかったです。
- 子どもを様々な視点から観察しているところは、今後私自身も見習っていきたいと感じました。また、具体的な支援方法を教えて頂いたので、すぐに実践していきたいと感じました。
- 参観をしながら児童の困り感を瞬時につかみ、その対処法について詳しく教えていただきました。個々の状態に合わせた内容で、即実践できそうだと感じてます。また先生の言葉から、これまでの自己の指導を振り返り、反省することも多かったです。児童個々の困り感に寄り添い児童理解に努め、これからの指導や支援を模索していきたいと思います。教師も子どもたちも、プラスのシャワーをいっぱい感じられるよう頑張りたいです。
- 子どもたちを肯定的(未来のスター)にとらえて関われるようになりました。子どもたちへの支援、指導をすることに、ワクワクしています。
- 自分たちが支援して成功したこと、改善が必要なことが整理され、道筋ができたように思います。
- 今まで、知らなかった事や気付いてなかった事があり改めて、これからの支援に取り入れたいと思える事をたくさんご指導頂いた。先生が見て感じた事を、すぐく分かりやすく教えて頂きました。
- 個別の指導で、運動療育の目線から見ていただけた部分もあり、とても参考になりました。背中をさわると…と言う話は、びっくりしました。以前は、背中を触られると嫌がるようすが見れたので、先生の感覚での話は納得させられました。
- 孝之先生の子ども達を優しく見つめる姿がとても印象的でした。また、フィードバックでは、先生達が話せやすい雰囲気作りをしてくださりありがとうございました。4人の子ども達の特徴を短時間で捉えて、アドバイスもとても分かりやすく勉強になりました。孝之先生がお話していたお買い物リレーや、SSTも活用してみたいと思います。また、プラスのシャワーもあびせて、子ども達の心を落ち着かせて行きたいと思います。孝之先生ありがとうございました。
- 重力不安の児童へのトレーニング方法や気になる児童との関わり方がとても参考になりました。担任の先生方や支援員の先生方も支援の方向性が分かり、笑顔になったことが嬉しいです。
- 期待以上に勉強になりました。とてもありがたく時間が足りないくらいでした。早速、学んだことを学級に取り入れています。
- 担当している園児に対し、栄先生の『今を生きる』という言葉聞いて、『なるほど!そういう捉え方したらいいのか!』と、とても納得しました。なんだか、そういう考えならもっと園児を心広く、優しく受け止められそうと思いました。園児に対し、もっと愛情や理解を深め、また、工夫もしながら接していきたいと思います。栄先生が、支援員の話、褒めながら、受け止めながら、アドバイスをしてくれたので、緊張しながらも充実した時間を過ごせました。ありがとうございました。
- 子どもの行動には意味がある。子どもを試す勇気・対応を変える勇気、想定内にする。どの児童にも共通する事だと感じ、挑戦しています。